

# 青葉通信

## 第3号

発行  
社会福祉法人  
中日新聞社会事業団  
中日青葉学園

# 力を合わせ悔いなし

## 充実の夏季球技大会

### 児童福祉施設の ビックイベント

愛知県内の児童福祉施設の子どもたちが夏休みの行事として取り組んでいる「県児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）が、八月二十一日、幸田町とぼねグラウンド（ソフトボール）、二十二日、日進市スポーツセンター（卓球）で開かれ、卓球団体戦で「あおば館A」が優勝、同個人戦でも中高生男子、同女子で優勝するなど上位に六人が入賞した。

百三十七人が参加した。

### ソフト、卓球に大活躍

青葉学園では、ソフト一部に「あおば館A」、「わかば館」、「二部に「あおば館B」の三チーム、卓球団体戦に「あおば館A」、「同B」、「わかば館」の三チームと卓球個人戦で合わせて約八十人が練習の成果を発揮した。

### ソフト

一部は、昨年優勝の「あおば」と「わかば」が一回戦で対戦し、写真右下、中日下II、満塁ホームランで得点を重ねた「わかば」が五対〇で下した。「わかば」は二回戦で今年優勝の赤羽根学園に六対三で敗退、三位決定戦で写真右下、中日新聞提供IIも梅ヶ丘学園に二対〇で惜敗した。二部の「あおばB」は一回戦で今年優勝した岡崎平和学園に三対一で敗れたが、練習試合では、照光愛育園に大差をつけて勝ち、悔し涙が吹き飛んだ。



### 卓球あおば団体個人を制覇

卓球団体戦は、「あおばA」が一、二、三回戦を順調に勝ち進み、決勝戦では一回戦で「あおばB」、二回戦で「わかば」を破った光輝寮と対戦、五対〇で圧勝、二年ぶりの優勝を果たした。

### 個人戦II写真左IIでは、

中高生男子の部で「あおば」中学二年生が決勝で高校生を下して堂々の優勝、中高生女子の部では、同中学二年生が優勝、同中学三年生が準優勝、同中学三年生が三位、小学生男女の部で、三位に同五年生男子と同六年生女子が入賞した。



### ソフトわかば念願の初勝利

ソフトボールでは、「わかば」が力をつけてきた。



ことが目立った。野手が好投した投手を盛り立て、五本のリードを守り切った。宮田典幸監督は、「公式戦で目標にしてきた一勝を、二年前に大敗したあおばから上げられて、みんな喜んでいて。部員全員で勝ち取った大きな勝利だ」と選手への健闘を讃え、「負け試合の後審判、相手チームへしっかりとお礼が出来ていた」と評価している。

### 卓球実を結んだ合同練習

卓球では、「あおば」「わかば」が今年も合同練習に励んできた。「あおば」は今年初めて大会直前に、青葉分校で三日間の合宿を行った。教室に寝具を持ち込み、入浴も近くの銭湯に行くなど普段の生活と切り離し、練習に集中するのが狙い。こうした取り組みが結果につながったが、それ以上に両館の子どもたちが声を出して励ましあいながら共に汗を流してきたことの意味は大きい。あおばの倉橋幸彦監督は「本番では練習と同じようによく声が出ていたし、両館二十六人の子どもたちが一人の落伍者もなく参加できてよかった」と写真右IIと振り返った。



小学四年で卓球を始め、自身も個人戦準優勝を果たしたあおばAのキャプテンを務めた中学三年女子は「後から入ってきた子に追い越されたこともあったし、練習も厳しかったけど優勝できてうれしかった。卓球を続けて本当によかった」と話している。

みなさんに支えられて  
練習では、愛知警察署長、学校の先生、ボランティア、卒園生、在園の選手OBから飲み物の差し入れ、千羽鶴などをいただいたほか、日進市北・西・相野山各小学校にお世話になりました。

# 節約アイデア

みんなの知恵でよりよい学園生活をしよう」と話した。そのほかの入賞者は次の皆さん。

▽グッドアイデア賞「ボスターをみんなで描く」(あおば館男子小学六年生)▽ユーモア賞「努力賞」(みんなが笑うと、明るくなつて電気がいらなくなる) (同館女子高校三年生)▽努力賞「スタップルームも電気がつければいいな!」(鍵がかかっているから子どもは消せないぞ!) (同館女子高校一年生、三年生)



あおば館、わかば館職員からの各二人と発案者の武弘和道主任事務員に松田園長を加えた選考委員会で入賞者を決定、五月十日、全体会の席で表彰した。

「普段の生活の中で無駄はないか、どうしたら節約できるか、みんなで考えて実行してもらおう」というのが狙い。あおば館男子中

私が学園の職員として登用されて、今年の八月一日で勤続四十年を迎えることができた。

昭和四十年代初頭は我が国のモータリゼーションの幕開けと言われ、国民大衆が車を購入してドライブを楽しむようになった頃と記憶している。

貧しい日本から頑張れば若い人でも車を持てる時代へと、世の中は大きな変革を遂げようとしていた。

## 初任給一万六千円

初任給が一万六千円からスタートし、住み込みでなければ生活は難しく、決して楽ではなかったが、不眠不休で子どもたちとがっぷり四つに組んで、関わりを展開することに大きな喜びと充実感を感じる毎日であった。

私はこの学園の卒業生として、後輩に託せることは何かを模索しながら、指導者一人の人間として成長の歩みを進めてきた。

ここ中日青葉学園は私にとって、時に厳しい父であり、優しい母でもあった。人と

# 粘り強い援助と愛情を

## 学園とともに歩んだ40年

指導療育部長 近藤日出夫



24歳の私

人生の大半をここ中日青葉学園で過ごすなかでも、児童福祉制度なるものがなかった。私の人生は十歳で終えていたと、思い起こされることがよくある。

私に課せられた仕事は、ここに暮らす子どもたちが本意で入所できてよかったと思える生活をj提供するなかで、自分たちの運命を変えられる力を身につけ、社会に巣立っていくための準備をさせることにあると考えている。

## 福祉制度に感謝

かつての学園の面影は平成十五年十月一日の建て替えによって、すっかりその姿を変えることになったが、処遇の実践力は現在の職員に受け継がれ、順風満帆ではないにしろ、その都度苦難の道のりを乗り越えてきた。

## 不登校から虐待へ

この四十年を振り返って大きな思い出として心に強く刻まれていることは、平成十年の児童福祉法の改正によって、虚弱児童設なるものが、児童福祉施設の種別から消滅してしまったこと、ここを境に不登校児童から虐待児童の比率が高まり、施設の雰囲気も年を経るごとに大きく変わっていった。

次いで園舎建て替えのために平成十三年から足掛け三年にわたり、青葉学園の職員と設計士を交えてのハード、ソフトの基盤づくりを奔走したことが、懐かしさと苦しさも同居して格別の感慨となつて思い返される。

突発性難聴にもこの時期襲われ、心身ともに疲弊しきつていたが、周りの現場の職員や退職職員の皆さんに支えられ、元気づけられたことが大きかった。

## 情熱の職員が財産

人間愛と情熱に溢れた職員が多数いたことが、何ものにも代えがたい、中日青葉学園の大きな財産であり、これから先も失って欲しくない宝だと思っている。

学園職員としてここにお世話になれる期間も残り少なくなってきたが、これからも職員が見せる子どもたちへの関わりのおかげで、注がれる粘り強い援助技術と愛情こそが、彼ら、彼女らへの大きな励まし、メッセージとして伝わることを信じていきたい。

本日に中日青葉学園には心から感謝している。多くの子どもたちの人生をい意味で変えていける関わりが提供できる施設として、これからもあり続けたいと願っている。



昭和57年 ソフトボール大会で監督を務め優勝(最前列右端)

# 年間行事

|    |  |                                    |  |                                |
|----|--|------------------------------------|--|--------------------------------|
| 4月 | 5日 日進中学校入学式(あおば館3人、わかば館5人)                               | 6日 北小学校入学式(あおば館3人) 写真              | 21日 新入園歓迎行事として、あおば館はボウリング大会を星が丘ボウルで、わかば館は三好公園へ外出 |                                |
| 5月 | 3日 もみじのひのきが吉良ワイキキビーチ。4日しらかば・けやきが美浜町海岸へ。わかば館がバス、地下鉄で名古屋散策 | 9日 青葉分校グラウンドで愛知署による交通安全教室 写真       | 12日 あおば館春のピクニックで愛・地球博記念公園 写真、猿投山登山、東山動物園などへ      |                                |
| 6月 | 9日 職員児童、ボランティアが園内清掃 写真 後、青葉スポーツ大会                        | 30日 サッカーJリーグ・名古屋グラブスエイト戦招待。わかば館肝試し | 7月   | 5日 ナゴヤドームで中日・広島戦招待。両館避難訓練 写真   |
| 7月 | 7日 あおば館五色園で肝試し 写真  | 20日 尾三消防署による救命講習会                  | 22日 24日 中学生キャンプ 写真                               | 30日 31日 幼児キャンプ 写真              |
| 8月 | 1日 3日 中日こども村郡上市に20人が参加。県内他施設の児童と交流を深める                   | 7日 9日 小学生キャンプ 写真                   | 13日 あおば館外出で恐竜大陸、関花火大会                            | 14日 わかば館外出で恐竜大陸                |
| 9月 | 21日 施設長会ソフトボール大会(幸田町)                                    | 22日 同卓球大会(日進市)                     | 23日 矢場とんポリシヨイサーカス招待                              | 26日 劇団飛行船恐たま乱太郎招待              |
| 9月 | 1日 わかば祭で児童、卒園生、保護者が立食パーティーなどを楽しむ。あおば館小学生中部善意銀行のUSJ招待     | 8日 ナゴヤドームで中日・ヤクルト戦招待 写真            | 20日 日進中学校体育大会、あおば館20人、わかば館16人が参加                 | 29日 北小学校運動会、あおば館30人、わかば館13人が参加 |

# 夏の思い出

## キャンプ楽しかったよ

夏休みの楽しい思い出に残るキャンプは、中学生が七月二十二日から二十四日まで、福井県若狭湾、幼児が三十、三十一日、知多半島野間海岸、小学生が八月七日から九日まで、岐阜県高賀山自然の家と長野県開田高原でそれぞれ行われた。

中学生では児童四十二人、職員十九人、ボランティア五人の計六十六人が二班に分かれて参加。昼間は海水浴、釣り、素もぐりを楽しみ、浜辺でサザエを焼いて食べた。透明度の高い日本海 写真



別れて参加。昼間は海水浴、釣り、素もぐりを楽しみ、浜辺でサザエを焼いて食べた。透明度の高い日本海 写真

幼児十人、職員六人、ボランティア三人の計十九人は近場の知多半島。中部国際空港を離着陸する飛行機や沖合いを行き来する船

山と川に囲まれた高賀山では清流・長良川の支流で川遊び 写真、夜はキャンプ

を見ながらの海遊び。二日目には南知多ビーチランドさんの厚意でイルカショーなどに歓声を上げた。

小学生では、児童四十二人、職員十九人、ボランティア十人の七十一人が参加

プファイア、御岳の麓、開田高原では乗馬体験 写真、星の観察。一人ずつ馬に乗ったり、草を食べさせたり、都会では見られない満天の星、天の川、流れ星を観察、高原ならではのキャンプとなった。

今年のキャンプは大人数の団体ではなくグループ行動を中心にプログラムを作成、子どもたち一人ひとりがリーダー作りなどで責任を持つて自分の役割を果たすとともに、あおば館、わかば館の交流を深めることもできた。

## わたしたちもお手伝い 苦手な野菜も好きに

あおば館には就学前の幼児が十人いて、近くの幼稚園に通う二人を除く八人が園内で午前九時から午後三時半まで学んでいる。角谷ひとみ、杉浦啓子両保育士が毎月の目標に従って指導しているが、子どもたちの昼の給食では、好き嫌いが悩みの種。

「みんなが何でも食べるように」と、その日の昼食の献立を見て、調理の準備のお手伝いをする

## 古着でぞうり作り

わかば館では子どもたちが、古着の布をリサイクルした「ぞうり」を室内履きに使っている。

岡部匡俊・臨床心理士が「古布でぞうり作り」の本を書店で見つけ、実践した。着なくなった衣類をばら



## トピックス

にした。朝一番に食材を部屋に持ち込み、タマネギの皮をむいたり写真、ピーマンの種を取ったり。角谷保育士は「自分たちが手伝ったことで、苦手な野菜もよく食べるようになりました」と話している。



## 仲よく遊ぼう

グラウンド北側にこの五月、遊具写真が新しく設置された。滑り台、鉄棒、雲てい、登り棒の四基で、昨年夏の名古屋市名東区・坪井すかさんからの寄付金を充てた。

「みんなで仲よく、幼児は大きい子と遊びましょう」などのルールを設け、子どもたちは放課後や休日や遊んで遊んでいる。



## 児童が献花

して芯を入れたひもにし、足の親指に掛け、ぞうりに編んでいく写真。横山弘子看護師や他の職員も子どもたちと一緒に作った。

去る五月、学園近くで拳銃を持った男が自宅に立てこもり、警察官一人が殉職、もう一人も重傷という悲しい事件が発生。あおば館の高橋悦子係長の発案で、

子どもたちがホームごとの現場を訪れ、花を手向け、亡くなった方の冥福と重症の方の回復を祈った写真。



## 権利ノート

この夏「権利ノート」を中央児童・障害者相談センターから取り寄せ、子どもたちに配布した。同ノートはセンターが措置する時に渡すものですが、持っていないケースもあり、徹底を図ることにした。

## 目安箱

十月から園長室に「職員目安箱」を設置した。あつてはならない職員による児童虐待はもちろんのこと「身内のことで話にくいこと」を吸い上げ、早めに対策を講じるのが狙い。

## 回覧板

近藤さんは昭和四十二年八月、調理員で学園に採用、四十七年から指導員。平成十五年十月、学園があおば・わかば両館複合施設になった時から指導療育部長を務めている。



## 近藤部長四十年表彰

指導療育部長の近藤日出夫さんは、今年八月、勤続四十年を迎え、両館合同会議の席で表彰された写真。

今年四月以降、九月末までに次の皆さんから温かい応援をいただきました。園舎セキュリティシステムや児童の健全育成などに役立ててまいります。ありがとうございます。

木下サカス、東芝ソリューション、兼松エレクトロニクス、日進電気、ヴァリダックス、鬼頭昌子、丸新舎、中日ドラゴンズ、ナゴヤドーム、中日電光ニュース、中日高速オフセット印刷、中日岐阜オフセット、シー・ピー・エス、中日プリンタリ、名古屋タイムズ印刷、中日オフセット印刷、中日制作センター、中日エージェンシー、中日アド企画、中日アドレップ、匿名(十万円)産通名古屋支社、共生印刷、横井太、中日ショップ(五万円)中日企業、中日興業、緑区ホームサービス、中日ホームサービス、瀬戸中日サービス、名西サービスセンター、中日江南サービス、あま中日サービス、知立中日サービス、知多ビールセンター、半田中日サービス、岡崎中日サービス、

## ありがとうございました

安城折込広告社、豊田中日サービス、碧南中日サービス、西尾中日サービスセンター、刈谷ホームニュース、マックスカンパニー(三万円)高島良樹、古谷俊明、荒屋昌夫、M(一万円)伏見博武(五千円)都築、夢シート、劇団名芸、劇団飛行船、TRY&TRUST、マリオン日進店、中部善意銀行、南知多ビーチランド、野外国族博物館リトルワールド、東海アイスクリーム協会、JA三重南紀、JA全農みえ、名古屋トヨベツト、児玉敏夫・節子、指宿、松岡、近石ユミ子、藤田清子、矢場とん、シヨクブン、中日ドラゴンズ、今池商店街連合会、愛知署、老番屋、ジェイプロジェクト、僕のAパン、伊藤保信(以上物品、招待)

「お詫び」昨年度にいただいた分通信二号に次の掲載漏れがありました。中日アドレップ、中日アド企画(十万円)、産通名古屋支社(五万円)、中日折込、知立中日サービス(三万円)

(順不同、敬称略)

## 平成18年度決算

| あおば館 (単位:円) |             | わかば館 (単位:円) |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収入の部        | 支出の部        | 収入の部        | 支出の部        |
| 1. 措置費      | 177,987,396 | 1. 措置費      | 133,616,724 |
| 2. 補助費      | 19,364,650  | 2. 補助費      | 3,131,000   |
| 3. 寄付金      | 5,665,276   | 3. 寄付金      | 3,334,700   |
| 4. 雑収入      | 4,227,674   | 4. 雑収入      | 969,325     |
| 5. 利息配当     | 7,351       | 5. 利息配当     | 5,795       |
| 6. 繰入金      | 600,000     | 6. 繰入金      | 10,100,000  |
| 7. 積立金取崩    | 0           | 7. 積立金取崩    | 0           |
| 7. 繰越金取崩    | 6,470,000   | 7. 繰越金取崩    | 0           |
| 合計          | 214,322,347 | 合計          | 151,157,544 |
|             |             | 合計          | 151,157,544 |

## 編集後記

「幼児・小学生・中高生の各キャンプ」(延べ八日間)に初めて参加しました。施設長会主催の球技大会と並ぶ夏の行事で毎年、全職員が一丸となって取り組んでいます。水難、熱中症など事故防止には細心の注意を払って準備し、大きな事故がなく無事終えることができ、職員には頭が下がるばかりです。キャンプや大会の場面場面で見せる子どもたちの生き生きとした表情に「苦労が吹っ飛ば」という職員の言葉を共有できた夏休みでした。(M・M)

社会福祉法人中日新聞社会事業団  
〒460-8511  
名古屋市中区三の丸1-6-1  
中日新聞社1階  
電話052(221)0580  
ファクス052(221)0839  
中日青葉学園  
〒470-0131  
愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164  
児童養護施設「あおば館」  
電話0561(72)0134  
ファクス0561(74)2315  
児童心理療育施設「わかば館」  
電話0561(74)7752  
ファクス0561(72)7557